

都留高・富士山噴火、その時どうする?!



内閣府・富士山噴火シミュレーション

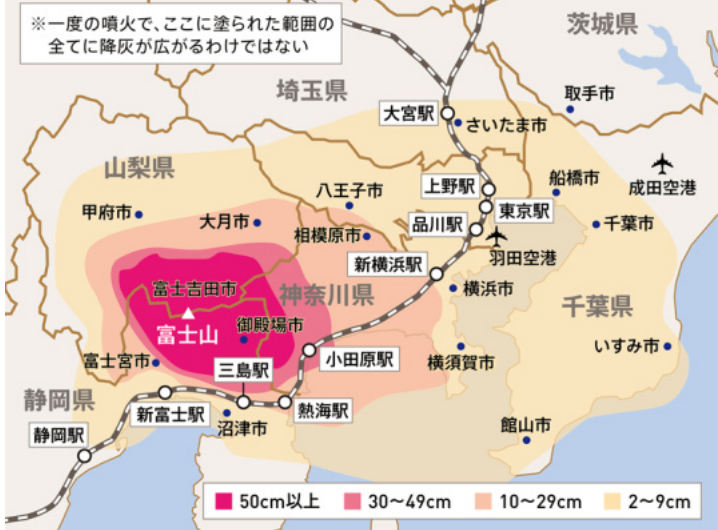
都留高校のみなさん、この夏はどう過ごされましたか？今年の夏も猛暑、地震や台風など自然の恐ろしさを感じさせる夏休みとなっていました。今回の新聞は1年生が初取材しました。

今、何をなすべきか？

6月に起きた地震では、都留高校のある大月市は震度5強を観測し、高校では図書室の本が落下する等の被害がありました。熊本では震度7の地震、各地で豪雨災害が発生し、今も避難生活をされている方々もいます。私たちの身近な問題としては富士山の噴火について心配です。

富士山が噴火した場合、大月市では主に降灰(火山灰)による被害が想定されています。火山灰が積もることで、交通機関の混乱や道路の視界不良、農作物への被害、電力・通信設備への影響などが発生するおそれがあります。また、降灰後に雨が降ると、火山灰が川や沢に流れ込み、土石流が発生しやすくなる危険性があります。さらに、令和3年に改定された富士山ハザードマップでは、中規模から大規模の噴火の一部ケースにおいて、大月市まで溶岩流

降灰の可能性のある範囲



※富士山火山防災対策協議会の資料を基に制作(2023年3月)

※富士山山頂で宝永規模の噴火が発生した場合の月別降灰分布図を12カ月分重ね合わせた図

が到達する可能性も示されました。これに対して大月市では、富士山ハザードマップや火山避難マップを公開し、住民へ

今注目の人

新ALT・Veronica先生

今回は新しく都留高校に赴任されたALTのヴェロニカ先生にインタビューしました。

①自己紹介をお願いします！
—Hello! My name is Veronica. I am Tsuru High School's new ALT.

I am from Canada.

②なぜ日本でALTになろうと思ったんですか？

—I decided to be an English teacher in Japan because I want to become an English teacher. I wanted to experience living in a country where I don't know the language, because many students in Canada experience the same thing. I was studying in university.

③日本に来る前は何をしていましたか？

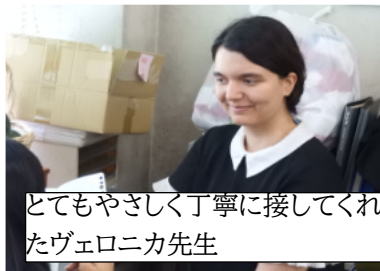
I was studying French and linguistics at York University in Toronto.

④出身国(カナダ)の好きなところを教えてください！

—I really like how friendly and multicultural Canada is. Everyone is very friendly and likes to celebrate together. I also love the nature in Canada—it's beautiful.

⑤先生の国では普通だけど、日本では知られていない習慣はありますか？

—In the summer, we don't wear indoor shoes at school. We keep the same shoes on all day. Also, on July 1st, we have Canada Day. We celebrate with fireworks and BBQ.



とてもやさしく丁寧に接してくれたヴェロニカ先生

の周知を進めています。また、富士山火山防災対策協議会と連携し、避難計画の整備や防災訓練、情報伝達体制の強化を実施しています。市民には、避難経路の確認や非常用品の備蓄など日頃からの防災対策が呼びかけられています。地理の能美先生にこのことについてお話を聞きしました。

Q1、富士山噴火の可能性はどれくらいありますか？
—気象庁のHPにあるように、過去100年に1回程度は噴火していたのに、3000年くらい噴火していないので、いつ起こってもおかしくない状況だと思っています。近年、富士北麓で震源があった地震は、富士山の噴火に関連があるかどうかとも言われています。

Q2、大月市に富士山噴火の影響はどの程度ありますか？
—規模によると思いますが、

地質を見ると、猿橋あたりも富士山噴火に伴う地層もあるようです。そのため、大規模な噴火により、大月あたりも桂川を沿って溶岩流が流れてくる可能性もあるかもしれません。

Q3、災害に備えておくべきことは何ですか？
—防災袋などを用意しておくこと。また、家族で避難経路や別々の場所にいた時の集合場所(避難場所)を確認しておくこと。災害伝言ダイヤル等を利用できるようにしておくことも大切です。スマホや携帯の電池切れに備え、自宅から離れた親戚1件に連絡の窓口になってもらい、安否確認や連絡の取りまとめをお願いする方法など、様々な備えが考えられます。日頃から家族で話し合い、万一の際の対応を確認しておくことも重要です。

自学進取

◇秋田県は山梨県より人口が多いのか、少ないのか。答えは、秋田県の方が山梨県より約10万人多い。面積は、秋田県の約1万1千平方kmに対し、山梨県は約4千4百平方kmで、2倍以上の差がある。その秋田県湯上市を全国総合文化祭で訪れた。東京から遠いためか、外国人の姿をほとんど見かけない。増田寛也編「地方消滅2」(中公新書)によれば、大月市はその湯上市よりも消滅可能性が高いというが、◇さて、総文祭の会場で、熊本県で震度7の地震が発生したことをスマートフォンで知った。全国から生徒が集まる総文祭だが、熊本県からの派遣はなかった。それでも九州地方から参加していた人々の表情には不安が見られた。昨年、香川県での総文祭に参加した際には、カムチャツカ半島付近で発生した地震(M8.7)による津波の影響が心配され、北海道や東北地方から来ていた高校生や顧問の先生方が気をそらしていた。これまでも、三重県で開催された際にはBS E(狂牛病)が問題となり、宮崎県では鳥インフルエンザ、福島県では原発事故直後という状況だった。山梨県にいくと、どこか遠い出来事のように感じるが、全国大会の引率をしていると、それらをとて身近な問題として感じる。◇来年の総文祭は石川県で開催される。なかでも新聞部門の会場は能登だ。能登といえば、2年前の1月1日に大きな地震に見舞われた地域である。◇ぜひ能登に来てほしい。石川の先生の一言が心に残った。復興を支える第一歩は、忘れないことよりも、足を運ぶことなのかもしれない。(顧)

都留高生・「いい顔」の記録

この夏も都留高生は全国の舞台で頑張りました。インターハイには水泳部が、総文祭には書道部、新聞同好会が出場しました。軽音楽部の「BOTTOM」も頑張ったようです。

総文祭に出場

☆書道部

7月26日から29日に開催された総文祭あきた大会・書道部門に出場した3年4組の狩野日菜莉さんにお話を聞きました。狩野さんは総合開会式にも出席し、各都道府県代表生徒1名が地元のお祭りを取り上げて意気込みを伝える各都道府県代表生徒1名として意気込みを伝える演出に参加しました。（全体299点の中で22位相当の価値ある受賞）

Q、どんな作品ですか？

—黄庭堅という作品を緑色の紙に濃い墨で、空白が美しくでるよう頑張りました。

Q、総文祭に参加した感想は？

—全国から色々な分野

の人が来ていて、おもしろい人もたくさんいて楽しかったです。

Q、総合開会式でも県の代表として参加した経緯と参加しての感想は？

—先生に頼まれて参加しましたが、日本だけでなくオーストラリアや韓国などいろいろな国から人が来ていてその国の文化を知れて楽しかったです。友達もできて嬉しかったです。

Q今後の抱負は？

—（卒業後も）書道を続けて、よりよい作品が書けるようにこれからも精進していきたいです。



インターハイに出場



☆水泳部

第94回日本高等学校選手権水泳競技大会が滋賀県インフロンティア草津アクアティクスセンターにて行われ、3年5組の大谷柚葉さんが女子200m自由形に出場しました。結果は2分7秒92で34位/50人でした。

Q、インターハイに向けてどんな練習をしてきましたか？

—合宿で全国大会へ行く強い人たちと練習を詰めました

Q、大会を終えての気持ちは？

—自己ベストの更新を目標

バンドコンテストに出場



としていたが更新できなくて悔しいです。

Q、今後の抱負は？

—これからは受験に集中する。大学で水泳と関わる機会があれば再開したいです。

努力したことは？

—大会で優勝するために、合わせ練習や個人練習を満足のいくまで繰り返しました。聞き手に少しの違和感も与えないよう、リズム感を意識して演奏しました。また、憧れのZepp DiverCityコンテストで結果を残しています。」とあります。

Q、舞台にたつての感想？

—Zepp DiverCityという、国内でも有数の規模で、自分たちにとって憧れのライブハウスで演奏するだけあつた。今までのどのライブよりも緊張し不安でいっぱいでしたが、いざ舞台に立つ

74年前の4コマ漫画

昭和27(1952)年6月24日の都留高新聞には4コマ漫画が掲載されている。田中芳晴さん作「ツルさん」という作品だ。一コマ目は都留高の校門付近から一人の男子高校生が出ていくシーン、二コマ目でその男子高校生が「うちへ帰るまじ、今日は大掃除だ」と独り言のシーン。三コマ目で先生が現れ「なにおそこでぶらぶらしているんだ」「ア先生ツうち今日多く客がきているもんで」。4コマ目のシーンで先生が「丁度いい、それで



総文祭新聞部門に参加して

総文祭新聞部門では、各都道府県の代表の新聞を見たり、他県の新聞部員の方々と協力しながら班ごと交流新聞を作成しました。

最初の交流会では全国の都道府県から選ばれた高校の新聞が展示されており、それぞれの高校で特徴的な見出しやレイアウトでこだわり抜かれ



荻野教育長(元都留高校長)から激励を頂きました

た興味深かったです。1日目の班員との交流では全員がそ

れぞれの都道府県から足を運んでおり、その地域の方言がとびかっていたり、地域ならではの違いについて知れたり、とても楽しい時間でした。交流新聞作りでは、秋田の歴史、文化、自然、産業等のテーマのもと6人の班に分かれて、取材活動を行いました。男鹿市の梨農園さん、大潟村干拓博物館さん、道の駅おお

がたさんで取材をしました。この一日で男鹿市の農産業にう流れだ。現在も高校新聞のコンクールでは「4コマ漫画」は評価が高い。今号では当「都留高ニュース」でも果敢に挑戦している。今後の作品にぜひ期待してほしい。